

令和4年度関東大豆セミナー

『大豆生産の取り組み』



2022年12月8日(木)
平塚ライスセンター
代表 古谷 光義

- 1 地域の概要
- 2 大豆生産のきっかけ
- 3 土づくり
- 4 播種について
- 5 防除について
- 6 今後の展開について

1. 地域の概要

- (1) 組織 平塚ライスセンター
 代表 古谷光義
- (2) 設立 昭和48年
- (3) 所在地
 茨城県結城郡八千代町平塚
- (4) 構成員
 社員3名(本人、妻、母)
 パート3名(オペ1名、運搬1名)
- (5) 栽培作物・作付面積
 稲60ha・麦25ha・大豆25ha・陸稲20ha
- (6) 保有機
 トラクター3台・田植機1台
 コンバイン2台・乾燥機9台

茨城県

結城郡八千代町

つくば市
農水省研究機関



2. 大豆生産のきっかけ

(1) 小麦と陸稲の連作

(2) 大豆＋小麦へ転換

3. 土づくり

(1) 自家生産鶏糞たい肥散布

(2) 土壌改良剤石灰散布



ミックスロータリー

4. 播種について

(1) 圃場の準備

(2) 播種深度

(3) 1人作業でも作業可能な播種機の導入



草刈り機



ドリルシーダー

5. 防除作業について

(1) ハイクリブームと無人ヘリコプターの併用



ラジコンヘリコプター

ハスモンヨトウの防除

8月盆前、9月上旬

6. 今後の展開について

(1) リモートセンシングの活用